津市火災原因損害調査事務取扱要領

平成１８年８月２５日

（趣旨）

第１条　この要領は、津市火災原因損害調査要綱（平成１８年津市消防本部訓第３６号。以下「要綱」という）によるもののほか、火災原因損害調査の事務処理について必要な事項を定める。

第２条　削除

（調査書類の省略）

第３条　火災原因損害調査書類は、要綱第３６条に定める様式により作成しているところである。しかし、数多い火災の中には、火災という次元は同じであっても、その内容によって要綱第３６条に定める様式により記録作成しても結果的には、手数がかかり実益の少ないものがある。このため、調査書類の一部を省略し、事務量の軽減を図るものである。なお、調査書類の一部を省略しただけのもので、現行の調査方法や本来の原則である要綱を無視するものではない。

⑴　要綱第３６条に定める様式により書類作成する火災

ア　建物焼損床面積がおおむね５０平方メートル以上の火災

イ　全焼又は半焼の建物がおおむね１棟以上の火災

ウ　全損又は半損の世帯がおおむね１世帯以上の火災

エ　その他署長が必要とする火災

⑵　前⑴以外の火災については、火災原因判定書（第１６号様式）に、次に掲げる事項を記載する。

ア　現場の位置及び付近の状況

イ　現場の模様

ウ　出火箇所及び付近の焼き状況

エ　関係者の証言

オ　関係物件（必要な場合に限る）

カ　原因の判定

キ　その他必要な事項

⑶　車両、枯れ草、電柱、その他の火災で、後日問題又は継続となる案件を含まず、原因が明らかなものは、原因の判定だけを日時、場所、主体、原

因、客体、状態の５Ｗ１Ｈに基づき、記載することができる。

⑷　前⑴以外の火災については、別表中、５から７まで及び１６の書類を添付しないことができる。

⑸　上記⑵、⑶に基づく記載例は別添を参照のこと。

（調査書類の編纂）

第４条　要綱第３６条に定める添付書類の編纂順序は別表に定めるとおりとする。

附　則

この要領は、平成１８年８月２５日から施行する。

附　則

この要領は、平成３０年４月１日から施行する。

別表（第４条関係）

火災原因損害調査報告書編纂順序

１	火災原因損害調査報告書（第２１号様式）
２	火災原因損害調査報告書（第２１号様式附紙）
３	火災原因判定書（第１６号様式）
４	付近見取図（任意様式）、現場配置図（任意様式）
５	火災出場時における見分調書（第２号様式）
６	現場見分調書（第３号様式）
７	現場平面図（任意様式）、現場焼損図（任意様式）
８	写真撮影報告書（第４号様式、第４号様式の２）
９	写真保存袋（第５号様式）
10	資料提出命令書（第８号様式）
11	資料提出書（第９号様式）
12	資料保管書（第１０号様式）
13	鑑定等依頼書（第１４号様式）
14	鑑定等の結果調書（第１３号様式）
15	鑑定等処分承諾書（第１５号様式）
16	質問調書（第６号様式）
17	火災損害調査書（第１８号様式、第１８号様式の２から５）
18	損害額計算書（任意様式）
19	建物等不動産り災申告書（第１７号様式の１）
20	収容物り災申告書（第１７号様式の２）
21	車両・船舶・航空機り災申告書（第１７号様式の３）
22	立木・その他り災申告書（第１７号様式の４）
23	負傷者調査書（第１９号様式）
24	死者調査書（第２０号様式）

別添１

第 16 号様式（第 24 条関係）

火災番号　総合○○

火　災　原　因　判　定　書

○○年○○月○○日

判定者　所　属　○○消防署
　　階　級　消防司令
　　氏　名　○○　○○　　㊞

平成○○年○○月○○日、津市○○町○○において発生した○○火災の原因を、本職は、次のとおり判定しました。

火災原因損害調査事務取扱要領第３条（２）に基づく

１　現場の位置及び付近の状況

○○○

○○○

別添２

第 16 号様式（第 24 条関係）

火災番号　総合○○

火　災　原　因　判　定　書

○○年○○月○○日

出火原因断定の場合の記載例

判定者　所　属　○○消防署
　　階　級　消防司令
　　氏　名　○○　○○　　㊞

平成○○年○○月○○日、津市○○町○○において発生した○○火災の原因を、本職は、次のとおり判定しました。

火災原因損害調査事務取扱要領第３条（３）に基づく

本火災は火災規模が比較的小規模で、かつ出火原因も判明していることから、出火原因の判定に係る調査以外の記述はすべて省略する。

１　出火原因について

【いつ】平成○○年○○月○○日○曜日午前○時○○分頃、【どこで】津市○○町○○番○○号の道路上において【誰が】津市○○町○○番○○号、氏名、生年月日、職業、が【何を】○○○○を【何のために】○○○しようと【どのように】○○○中に○○○したため○○○○○○○○○○○○○○○○○○したものと断定する。

以上

別添３

第 16 号様式（第 24 条関係）

火災番号　総合○○

火　災　原　因　判　定　書

○○年○○月○○日

出火原因がほぼ断定に近い推定の場合の記載例

判定者　所　属　○○消防署
　　階　級　消防司令
　　氏　名　○○　○○　　㊞

平成○○年○○月○○日、津市○○町○○において発生した○○火災の原因を、本職は、次のとおり判定しました。

火災原因損害調査事務取扱要領第３条（３）に基づく

本火災は火災規模が比較的小規模で、かつ出火原因がほぼ断定するに等しい供述が得られていることから,出火原因の判定に係る調査以外の記述はすべて省略する。

１　ほぼ断定するに等しい状況等

（１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（２）○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（３）○○○○○○○○○○○○○○○○○○

２　出火原因について

【いつ】平成○○年○○月○○日午後○○時○○分頃、【どこで】津市○○町○番○○号において【誰が】津市○○町○○番○○号、氏名、生年月日、職業、が【何を】○○○○を【何のために】○○○しようと【どのように】○○○中に○○○したため○○○○○○○○○○○○○○○○○○したものと推定する。

以上